

# 令和5年度つながる鎌倉エール事業スタートアップコース 審査結果

事業名		審査項目							合計	結果
		事業提案の実現性	目的の設定	事業の有効性	費用の妥当性	継続性 発展性 将来性	先駆性 専門性	熱意 情熱 意欲		
1	地域をつなげるMeet up事業 (西鎌倉CONNECT)	4.2	4.4	4.0	3.6	3.6	4.6	5.0	29.4	○
2	明月川の清掃・生態系保全及び明月谷の環境保全 (明月川・谷戸の会)	3.4	3.2	3.2	2.2	2.2	2.6	3.6	20.4	×
3	子どもたちが自由に海で遊べる機会づくり～ホリデースイミーズ (湘南・海のようにえんスイミーズ)	4.8	4.2	4.4	4.2	4.0	4.2	5.0	30.8	○

※各項目の平均点数の合計が21点以上の場合に採択

# 鎌倉市市民活動推進委員会選考部会からの講評

## 1 地域をつなげるMeet up事業(西鎌倉CONNECT)

- 地域のことが好きな人を増やし、その人たちをつなげるプラットフォームの構築は、地域課題解決のための活動の芽を育てたり、自治会町内会が抱える困りごとや課題解決の一助となる取組であり、社会的意義がある。
- 自治会町内会のような地縁組織と地域活動をうまく融合させ、広域の地域ネットワークに着目したのが特徴的な事業であり評価できる。
- 団体が既に持っている自治町内会館の活用やネットワークづくりのノウハウはとても貴重なものであり、他の団体からもニーズがあると見込める。今後、この活動を継続していくための手法のひとつとして、例えば、ノウハウを周知する研修会を開催することによる収益獲得等の手法についてもぜひ検討してほしい。

## 2 明月川の清掃・生態系保全及び明月谷の環境保全(明月川・谷戸の会)

- 明月川に関する河川や里山の自然環境保護に関する活動は、地域からも求められる取組であることから社会的意義があり評価できる。
- 令和4年度の取組では、広く地域住民を巻き込み、地域の課題解決に即した活動について評価した部分であったが、令和4年度実績報告及び令和5年度の事業計画等ヒアリングを行った中で、地域との関わりや連携について明確に確認ができず、つながる鎌倉エール事業の趣旨から一部逸れる内容であった。
- 河川管理者や土地所有者との事前調整や、作業によって起こりうる危険へのリスクヘッジが明確でなかったため、それらの重要性や理解をより深めてほしい。

## 3 子どもたちが自由に海で遊べる機会づくり～ホリデースイミーズ(湘南・海のようにえんスイミーズ)

- 海という身近な資源を有効活用し、従来の子育てサービスでは充足できない内容を提供していくことに社会的意義がある。また、当事者が当事者をサポートしあう関係を創る部分についても評価できる。
- 有意義な取組であるからこそ、団体のメンバーにかかる負担に留意しながら無理のない範囲で継続的な取組として行ってほしい。
- 任意団体であることは、運営を柔軟にするメリットがあるが、活動の信頼性を高めるためにも、法人化という手段についても検討してほしい。
- 緊急時の対応について事前に念入りに考えられていたことが評価できる。対応方法について、団体内での共有に加え、保護者等、対外的にも見える化できると、不安を払拭し、参加しやすさが増すと考えられる。